

「がん性疼痛を有する医療用麻薬処方患者に対する 診察前薬剤師面談の有用性の検討」について

加古川中央市民病院 緩和ケアセンターでは、現在、がん性疼痛に対し医療用麻薬が処方され、診察前薬剤師面談を実施した外来患者さんを対象に研究を実施しております。この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

[研究概要及び利用目的]

これまでがん性疼痛を有する外来患者さんに対して、病院薬剤師はほとんど介入することが出来ていませんでした。当院では薬剤師が外来患者さんに対しても、入院患者さんと同様に痛み治療に介入できるよう、2022年4月よりがん性疼痛に対し医療用麻薬が処方されている外来患者さんを対象に、医師の診察前に薬剤師が痛みや薬の効果についてお話を伺う、診察前薬剤師面談を開始しました。

本研究では診察前薬剤師面談を行った3年間を振り返り、面談時に使用した痛みの問診票から得られたデータとともに診療録から臨床情報を収集し、診察前薬剤師面談の有用性について検討します。

[研究期間]

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦2026年12月31日

[取り扱うデータおよび試料・情報の項目]

2022年4月1日から2025年3月31日の間に加古川中央市民病院において診察前薬剤師面談を受けられた方の診療録より下記の情報を取得いたします。

- ① 基本情報：年齢、性別
- ② 疾患情報：がん種、診療科
- ③ 面談回数、転帰、処方提案内容と件数、採択率、有効性、
- ④ 痛みの程度、痛み止めの満足度

[個人情報保護の方法]

研究実施に係る試料・情報を取り扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象者識別番号リストを作成して、匿名化をおこない秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

[試料・情報等の保存・管理責任者]

加古川中央市民病院 緩和ケアセンター 責任者氏名：小西千尋

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を有しており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回の申し出があった場合には、その方に関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者様のデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者様のデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消した時点ですでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 緩和ケアセンター
研究責任者名 小西 千尋
連絡先：079-451-5500